

高木惣吉 たかぎ そうきち 軍事評論家。明治二十六年八月十九日生れ、昭和五十四年七月二十七日歿（八三—一九七九）。筆名辰巳亥子夫。大正四年海軍學校、昭和二年海軍大學校卒。十四年海大教官、十八年海軍少將。二十一年雜誌『世界』に「終戦覺書」を發表、反響多大。爾來軍事評論家として活動。

著書『終戦覺書』（昭和二十二年二月）二十五日弘文堂書房、「ソテネ文庫」）、『太平洋海戰史』（昭和二十四年八月二十一日、改訂版・三十四年十月）二十五日岩波書店「岩波新書」）、『聯合艦隊始末記』附陸海軍抗爭史』（昭和二十四年十月十日文藝春秋新社）、『山本五十六と米内光政』（昭和二十五年五月二十八日文藝春秋新社）、『現代の戦争』（昭和二十一年十月十七日岩波書店「岩波新書」）等。藤岡泰周著『海軍少將高木惣吉—海軍將領會議と民間人頭脳集団』（昭和二十一年六月十九日光人社）刊。

